

令和4年度口腔保健推進会議後の取組について

※調査シートでご回答いただいた内容（原文のまま）です（R5.5.24時点）

資料4-2

団体名 ※構成員名簿順（敬称略）	課題への取組		その他歯科口腔保健に関する取組み	本市の歯科口腔保健事業等に関するご意見
	【乳幼児期～学齢期】	【青年期～高齢期】		
	幼少期からのむし歯予防（歯みがきやフッ化物洗口等）について	青年期以降の歯周病予防について		
一般社団法人北九州市PTA協議会	団体としての活動は特になし 子どもが市内の中学校に通っていますが、中学校ではあまりむし歯に関する取組みは行われていないように見受けられます。	特になし	特になし	特になし
公益社団法人福岡県栄養士会	これまでのCOVID-19による各種イベントの開催の制約も徐々に緩和されている。栄養士会としてはこのような場を活用し、おやつ選び方、虫歯になりにくい食べ方などについて啓発していく予定である。	市民を対象とした健康フェアや糖尿病教室などの場において歯周病予防のための食物摂取の留意点などを啓発していきたいと考えている。	北九州デンタルフェアに参加し、栄養・食事と歯科口腔保健について啓発する予定である。	特になし
公益社団法人北九州市歯科医師会	令和5年10月から北九州市立の全小学校でのフッ化物洗口開始 予防の徹底のため4歳から15歳までに範囲の拡大を要望	健康寿命延伸のため歯周病健診の受診率の向上へ向け勸奨活動 企業健診の個別健診への取組み 高校卒業後の大学入学時、入職時の予防検診の勸奨	成人健診 市役所職員に対する個別歯科健診への取組み う蝕予防への取組み 1歳からのう蝕予防としてのフッ化物塗布への要望 4歳からのフッ化物洗口への取組み 企画中	在宅小児の医療的ケア児の歯科治療に対する取組みについて 開業歯科医が在宅訪問時に歯科治療の必要性を認めた場合に受け入れていただける高次医療機関との連携調整に取り組んでいただきたい 予防が治療より確実に個人のQOLを引き上げ、医療費の抑制にもつながる
公益社団法人北九州高齢者福祉事業協会	当方は、高齢者を対象とした団体であるため、特にありません。	市からの啓発ポスター等について、施設内に掲示しております	歯科口腔保健についても、入所者や利用者への啓発を機会をとらえて実施しています。	特になし
北九州市食生活改善推進員協議会	年長児から小学生の親子を対象に「おやこの食育教室」を開催しています。その際むし歯予防として食後の歯磨きと、おやつを食べ過ぎや夜更かしをしない、「早寝・早起き・朝ごはん」で生活のリズムを作るように推進しています。	「世代別に取り組む生活習慣病予防のためのスキルアップ事業」「全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト」を開催し若者世代、働き世代、高齢世代に歯周病は生活習慣病なので予防のためにお口の健康を保つことと、80歳で20本以上自分の歯を保ち元気で長生きできるよう推進しています。	市内のほとんどの市民センターで毎月1回開催している高齢者対象の「ふれあい昼食交流会」では歯科衛生士さんに『健口ストレッチ講座』をして頂いています。	特になし
公益社団法人北九州市医師会	特になし	特になし	健診結果で糖尿病が疑われる者および糖尿病治療中の者については、糖尿病連携手帳について説明し、連携シール、リーフレットを配布している。	歯周病と多くの疾患の関連が明らかとなってきているが、周知するとともに医科と歯科の密な連携を進めていくことが必要と考える。
公立大学法人九州歯科大学	各年齢の歯科検診事業において問題があり、大学病院にご紹介のあった患者さんに対して、適切な対応を行っている。	歯周病検診事業において問題があり、ご自身で受診されたり紹介があった患者さんに対して、適切な対応を行っている。	一般的な歯科疾患への対応はもちろんのこと、高齢者歯科医療や口腔の機能訓練・リハビリテーションにも力を入れています。さまざまな全身疾患を抱えて歯科治療に不安をお持ちの患者さんや障がい者（児）の方が安心して治療を受けられる体制を整えており、CTやMRIなどを使用した画像診断、粘膜疾患などの口腔内科的疾患の診断や治療、口腔外科的治療、外科的矯正治療、顎顔面インプラント、顎義歯、顕微鏡下歯科治療、矯正歯科治療などの専門性の高い領域についても医科病院や地域の歯科医院との連携で対応している。	特になし
一般社団法人北九州市保育所連盟	・4・5歳児歯科検診 ・各施設で異なりますが、食後の歯磨き・口濯ぎ等	特になし	特になし	特になし
NPO法人ケアマネット21	特になし	要介護認定高齢者に対するアセスメントにおいては、「かかけ歯科医師」 最終歯科受診日などの情報収集をするようにしている。 北九州市ケアプラン点検マニュアルの改訂に伴い、上記の内容の確認項目の追記をした（点検マニュアルの受託をしたため）	昨年の研修計画には、高齢者の嚥下障がい、認知症高齢者等の嚥下困難な状態について、口腔および嚥下機能等に関する研修会を講義・演習を通じて学んだ。	妊婦・新生児から高齢者まで横断的に口腔機能向上をめざした取り組みを行っていることを、市民、関係団体等にもう少し行うとよいと思う

令和4年度口腔保健推進会議後の取組について

※調査シートでご回答いただいた内容（原文のまま）です（R5.5.24時点）

資料4-2

団体名 ※構成員名簿順（敬称略）	課題への取組		その他歯科口腔保健に関する取り組み	本市の歯科口腔保健事業等に関するご意見
	【乳幼児期～学齢期】	【青年期～高齢期】		
	幼少期からのむし歯予防（歯みがきやフッ化物洗口等）について	青年期以降の歯周病予防について		
北九州市障害者施設協議会	特になし	特になし	特になし	特になし
一般社団法人北九州市私立幼稚園連盟	団体としての取り組みはありませんが、各園個別にはみがき、うがいなど取り組んでいます。	特になし	新型コロナウイルス感染症が五類になり食後のみがきなど、コロナ禍以前に戻りつつあります。	特になし
九州女子大学	特になし	大学の実習のなかで、歯科衛生士を外部講師として招聘し、口腔ケアについて、その重要性の認識を向上させることを目的として、講義、実習を行っている。	高齢者サロンにて、口腔ケアや摂食嚥下についての講話や教室を行っている。	特になし
北九州商工会議所	特になし	特になし	専門分野ではないので当所が独自で事業を実施するのはなかなか難しいが、各団体が実施する事業へ協力する 【例えば】 広報協力 ※市内の企業向け広報 会報誌（約10,000会員）、メルマガ、HP	歯周病は、糖尿病、心臓病、脳梗塞などのリスクを上昇させると言われているので、歯周病を予防することで、これらの病気を予防できる可能性が高くなる。 歯周病を予防するには、定期的な健診を受けることが重要であると思う。 個人的な質問ですが、国が「国民皆歯科健診」の検討をしているようですが、北九州市がさがかけて、企業の健康診断のオプションとして歯科健診を設定し、受診した場合は一部費用負担するなどは考えられるでしょうか。または、市の費用負担はないが歯科健診を実施した企業には、公共工事等の市の入札の加点など、メリットを付与することは可能なのでしょうか。
公益社団法人北九州市薬剤師会	特になし	特になし	各薬局においては医薬品の副作用による口腔機能低下を回避し、オーラルフレイルを事前に予防することは心がけているが、薬剤師会としては特に取り組んでいることはない。 乳幼児歯科検診啓発チラシの配布は各薬局でさせていただいている。	薬と歯及び口腔状態の関連のさらなる周知が必要と考える。 糖尿病のみならず生活習慣病全般においての歯周病予防の啓発をすすめていきたい。薬局には健康な人も含め全世代の方が来られるので、啓発チラシやポスターがあれば活動の幅が広がると考える。
北九州歯科技工士会	特になし	歯周病になりにくく、清掃しやすい形態の補綴物の製作をしています。 高齢者などで嚥下が困難な人には、嚥下を助ける装置の製作をしています。	特になし	特になし
北九州市立小学校長会	・フッ化物洗口を実施率100%で実施している。 ・給食後の歯みがきを4年ぶりに再開 ・ブラッシング指導（全学年） ・むし歯予防事業の活用（2,5年生） ・はみがき大会参加（5年生） ・学級活動と保健だけでなく、生活科や理科、家庭科等、各教科の学習内容と関連を図り、効果的な指導を行う。 ・児童会活動での取組	・6年生が保健「病気の予防」にて、歯周病予防について学習する。 ・5年生が「むし歯予防事業」にて、歯周病予防について学習する。	・学校保健委員会で学校医、地域、家庭、保育園、幼稚園とも連携し、歯と口の健康に関する取組を組織的に行う。	特になし
一般社団法人福岡県歯科衛生士会	歯科保健指導（委託事業） 妊産婦（父親含む）教室・乳幼児なんでも相談・赤ちゃん教室・幼児食教室 子どもむし歯予防事業（保育所・子ども食堂）・学校歯科保健指導	妊産婦（父親含む）教室 健口ストレッチ事業：サロン・ふれあい昼食・健康ストレッチ講座 健口相談（歯科医師会事業）	社会福祉協議会：通所事業による口腔プログラム協力	乳幼児の早期のアプローチについて 市民センター・区役所での事業では、昼間に参加可能な保護者しか参加できない。1歳半、3歳時健診時に保健指導が行われていると思うが、その時期以前の指導も必要である。保育所の保護者対象に歯科保健指導（むし歯予防・歯周病予防）の事業ができたかと考える